

### 北海道支部安全大会 実施概要

北海道の協会会員の安全施工に対する意識統一と、各社の取組施策の共有を目的に、「北海道支部安全大会」が9月6日（火）に「ホテルさっぽろ芸文館 瑞雪の間」で総勢240名の参加者によって開催されました（写真1）。

来賓として参加いただいたNTTグループ幹部の方々のご紹介の後、大村北海道支部長の開催挨拶で幕を開け、その後本部の久保園専務理事挨拶、ご来賓を代表してNTT東日本 野池北海道事業部長様からの挨拶をいただきました。

北海道は8月中旬以降に（観測史上初）連続上陸した3つの台風（7号、9号、11号）と、最接近した台風（10号）により記録的な大雨と強風に見舞われ、NTT設備も多大な被害を受けました。折しも、その復旧工事が



写真2 展示エリア

進行中での大会開催となった事から、各位の挨拶には災害対応のお礼、一丸となり復旧する気持ち、そして復旧工事も安全第一で行う等の言葉が随所に盛り込まれていました。

毎年好評の特別講演は、メンタルトレーナーの小松明広氏による「ストレスマネジメント」に関する講話が行われました。

休憩を挟んだ後半は、支部会員4社による「安全の取り組み施策」の発表、次に各社代表からの「安全決意表明」が大村支部長に手渡され、そして最後に参加者全員による「安全スローガン唱和」を行い、盛大な大会を終了しました。

また、会場ロビーに展示エリアを設け、NTT東日本技術協力センタ様の他、メーカー3社が物品展示を行い、開会前と休憩時には興味深げに見学をしていました（写真2）。



写真1 会場風景



司会：(株)つうけん 千葉社員

## 大村支部長挨拶（要約）

大村支部長からは、『4つの台風が来て全道で異常な災害に見舞われて悲惨な状態です。仮復旧に向けてNTT様と連携し、一丸となって北海道の設備回復に向けて、安全に十分配慮して頑張りたい。』との意気込みが語られました。

また、通建業界全体として改善勧告、死亡事故発生といった非常事態であることに関し、『幸い北海道エリアでは大きな事故の発生はないが、これは基本動作をきちんとやってきた結果と思う。しかし、重大事故の裏には軽微な事故やヒヤリハットがあり、その後ろには無限の不安全行動がある。』と、ハインリッヒの法則を例に挙げ、さらに『不安全行動、不安全状況を我々はなくしていかなければならない。そのためには“慣れ”というものが怖い。今一度、北海道エリアで絶対に事故を起こさないという新たな決意・宣言をして、皆様と一緒に頑張っ ていきたい。』と、表明されました。

最後に、重大事故が起きる状況について、『高所作業、高電圧近くでの作業、刃物を使う作業、重機を使う作業、地下での作業といった、ある程度危険が想定できる環境の中で起きると思う。そのような危険作業を行う時には普段から、不安全行動にならないような指導・指示を徹底的にやっていただきたい。』と締められました（写真3）。



写真3 大村支部長 大会挨拶

## 久保園専務理事挨拶（要約）

久保園専務理事からは、『台風災害で大変なところ、多くの協会会員各社の皆様にお集まりいただき、安全大会を開催できました。』と、感謝の意が述べられ、『安全というのは、何物にも代え難いもので、工事に携わる者の一番大切な部分でなかろうかと思う。』と、話されました。

続けて、『今日は多くの取り組み事例の紹介があり、仕事を安全に行うヒントがたくさんあると思う。改めて現場の皆様の活動・取り組みを業界全体として安全な作業に取り組みたい。昨今、死亡を含め多くの人身事故が発

生している中、我々業界・関連会社が一丸となり、小さな危険の芽を摘んでいくことが求められる。NTTグループと一緒に作業の根本的なところから安全をもう一回振り返る事が必要。』と、挨拶を終了されました（写真4）。



写真4 ITEA 久保園専務理事 来賓挨拶

## 野池事業部長様 来賓挨拶（要約）

野池北海道事業部長様は、大会に招かれた事と、台風被害の設備復旧の迅速な対応、精力的な作業に対して感謝の言葉を述べられました。

次に、NTT東日本の動向として、一昨年からの事業の柱を見直した点について話されました。

- ①光コラボレーションモデルの推進
- ②ビジネスユーザーへのシフト
- ③経営の効率化と生産性向上

また、北海道事業部の設備系として力を入れている事についても説明されました。

- ①開通力を徹底的に強化（SO、ビジネスユーザー）
- ②競争力の強化（事前作業の現地調査、設計等）
- ③委託業務の拡大（Pエリア）

この実施のために、通建業界の協力が必要だが、業務確立のために、伸ばして欲しい力として次の3つを挙げられました。

- ①社外折衝力、エリアマネジメント力
- ②設備を自ら改善・高度化する力
- ③お客様から信頼され、地域の顔として活躍する力

続いて安全の話として、『昨年度は非常事態宣言が出される程事故が多発し、全体および個社で施策を打ったが減らなかった。今年度は北海道では発生していないが、全国的には継続して発生し、その傾向は準備中、移動中、後処理の中で直接作業以外の時に起きている。出社から帰社までが作業であると認識し、全てにおいて安全に行動して欲しい。』と、お願いされました。

また、飛び込まれ事故や移動中の交通事故も増えている事を話され、作業中・交通誘導員・歩行者の事故防止の徹底と、昨年度発生した雪道での高所作業車滑走事故

を踏まえて、早めの冬季対策実施を要望されました。

さらに、会社の運営に大きな影響をおよぼすセキュリティ事故防止についても語られ、最後に『今回の災害復旧は緊急性を要する事になるが、その中でも事故は起こさない。命が一番大切だ。と心に銘じて作業して欲しい。』と締められました（写真5）。



写真5 野池北海道事業部長様 来賓挨拶



BAD用語、「忙しい・時間がない・疲れた」は、「充実している」と肯定的な言葉に置き換えることが重要。そこで、講師のリードにより参加者全員で「充実している〜！」と両手を挙げて大合唱をしました。

労働安全衛生法の改正により、「ストレスチェック」が義務化されるなど、心の健康が社会問題になっている昨今、とてもタイムリーな講話となりました（写真6）。



写真6 特別講演 小松 明広氏



ストレス対処法：  
肯定的な言葉の練習  
「充実している〜！」



## 特別講演 「ストレスマネジメント」

特別講演として、メンタルトレーナーの小松明広氏（オフィスK）による、職場におけるストレスの対処法「ストレスマネジメント」に関する話を参加者に聞いていただきました。

調査に応じた、事業所の6割弱がメンタルヘルス不調者の正社員がおり、それにより能率低下が招く生産性の低下、ヒヤリハットやミストラブルの増加、長期休職による生産性の低下などの経営リスクが起きているとのことです。

メンタル不調の原因はさまざまですが、本人の性格の問題が大きく、物事を否定的（ネガティブ）に捉えることでコルチゾールという脳内ホルモンが働き、マイナスの悪循環に陥るようです。一方、物事を肯定的（ポジティブ）に考えることで、セロトニンという物質の分泌を促し、ストレスに強い心を作るそうです。そのためには、①人や物事に対して肯定的認知をする ②有酸素運動をする ③趣味を持ち、ON/OFFを切り替える ④セロトニンを増加させる食物を摂る。特に納豆などの大豆製品の他、和食が良いとのことでした。

また、ストレスに積極的に対処する方法として、常に肯定的な言葉を使い、「ポジティブな思考パターンを定着」することであり、職業人が使ってはいけない三大

## 各社からの「安全品質の取り組み」発表

支部会員各社の発表内容は以下のとおりです。

### ◆日本コムシス(株)

「撤去工事におけるCR確認方法の改善」

メタルケーブル心線の撤去作業時におけるCR探索を安全かつ効率的に実施するために、呼びりんキャッチャー（16Hz）に工夫を加えてさまざまな検証を行い、リング通しによる確認方法の補助ツールとして使用する取り組みを発表（写真7）。

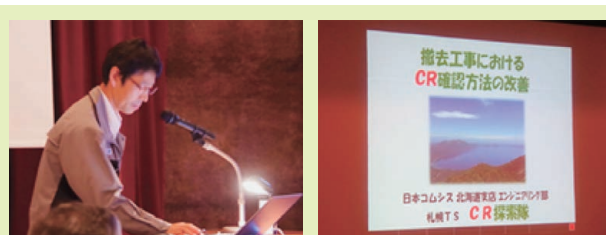


写真7 日本コムシス(株)

## ◆(株)協和エクシオ

「事故撲滅に向けた取り組み」

無事故達成の重点取り組みの柱の1つである安全施工サイクルの確実な実行のため、TV会議を使用して各技術センタを結ぶ安全朝礼の実施や位置情報サービスを利用した安全パトロール効率化の取り組みを発表（写真8）。

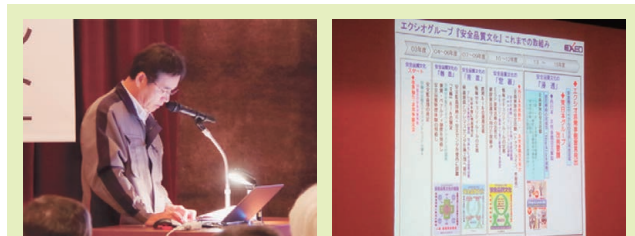


写真8 (株)協和エクシオ

## ◆(株)ミライト

「安全品質の取り組み」

事故・災害の撲滅のために、ヒヤリハット事例の発生傾向を分析して月ごとの発生確率をまとめ、現場へフィードバックする取り組みと、手作りのマグネット式注意喚起シール（転落防止、工具の落下防止、カラビナ禁止）による取り組みを発表（写真9）。

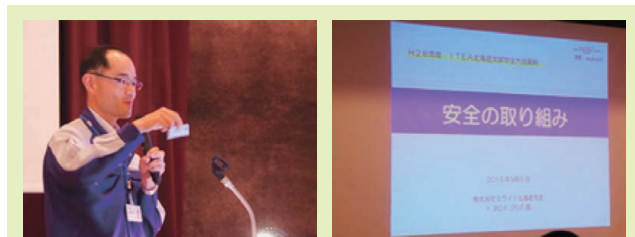


写真9 (株)ミライト

## ◆(株)つうけん

「安全施工サイクル（安全朝礼）実施に向けた取り組み」

安全施工サイクルの確実な実施の取り組みの中から、安全朝礼について北見事業所の事例を説明。効果的な朝礼実施に向けた事前の意識合わせ、マトリクスによる役割・問題点の検討などを発表。実際の朝礼（準備～送り出し）をVTRで再現（写真10）。

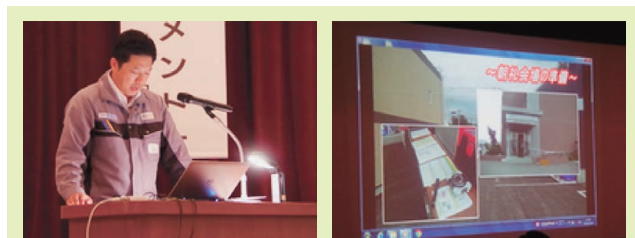


写真10 (株)つうけん

## 各社代表による安全決意表明

安全に留意した作業を行い、絶対に事故を起こさないという強い決意が、各社の代表者により表明され、大村支部長に表明文が手渡されました（写真11）。



写真11 安全決意表明

## 全員で安全スローガン唱和

参加者全員が起立し、ITEA北海道支部の「H28年度安全スローガン」を唱和して、大会の最後を締め括りました。

リーダーの先導により声高らかに、気合の入った唱和が行われ、事故防止に向けて気持ちを新たにしました（写真12）。

平成28年度  
ITEA北海道支部 安全スローガン  
忘れるな  
基本動作と指差し呼称  
危険を感じ 安全行動

写真12 安全スローガン唱和  
(株)ミライト 御庄 駿之